

## IOR-CV 形 誘導形過電流継電器 常時閉路接点式無電圧引はずし形

Type IOR - CV Induction Type Overcurrent Relay, Normal Close Contact Type

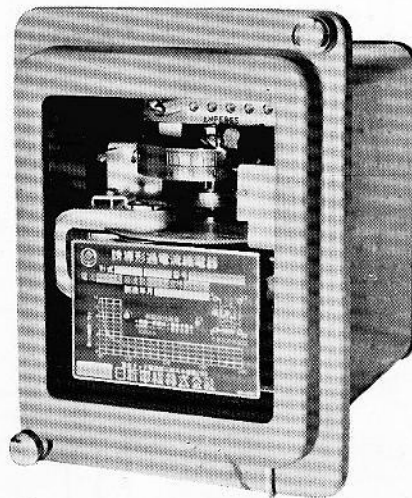
IOR - CV 形過電流継電器は一般に変流器の二次回路に接続され、交流機器の過負荷保護および交流回路の短絡保護を目的として直流操作電源がない場合に使用され、しゃ断器が無電圧引はずし形の場合、回路電圧を利用して機器を確実に保護することができます。

### 構造と動作

主要部は変圧器式鉄心に主コイルと極コイルとを相対して巻き、これによつてできる移動磁界により渦電流が流れると円板が回転するという原理に基いたものです。すなわち主コイルに流れる電流が増加すると円板は制御スプリングに打ち勝つて始動し、永久磁石による制動作用によつて一定時限の後その主接点を閉路します。

本器は、しゃ断器の引はずしコイルが無電圧引はずし形のときに限つて適用されます。

この継電器の補助接触子は1個の常時閉路接点からなつており、主接点の閉路と同時に無電圧引はずし回路を開放し、無電圧引はずしコイルは無励磁と



第1図 IOR-CV 形 誘導形過電流継電器 (埋込形)

なつてしゃ断器を引はずします。したがつて2箇以上の継電器を使用する場合には短絡接点は全部直列に接続します。

### 動作電流値の整定

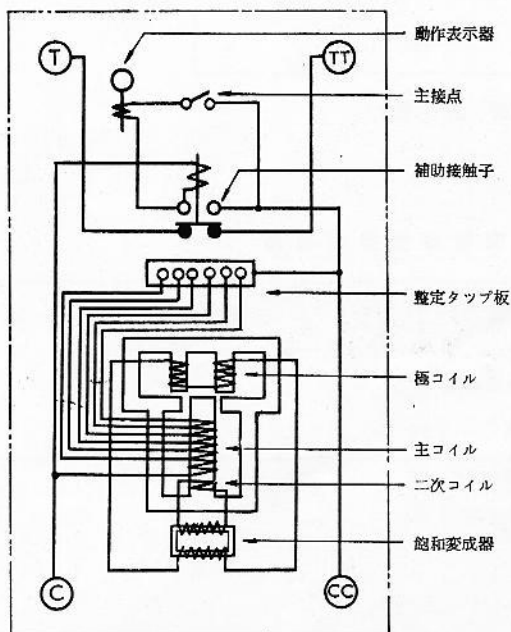
電流整定タップ板には始動電流値が銘記されていますから系統の大小や個々の場合に応じて所要の電流値へプラグを差し込めば良い訳です。

広範囲の電流整定ができるようにタップ板には4—5—6—8—10—12Aの6タップが設けてあります。

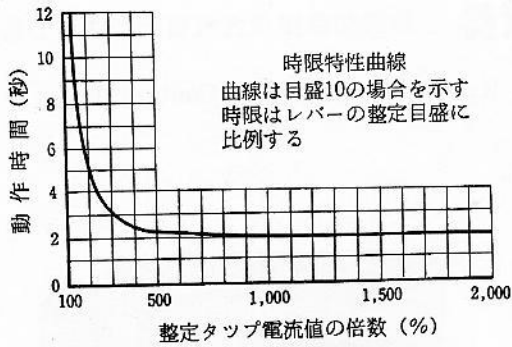
### 時限の整定

銘板には時限特性曲線が記載してありますが、これは整定電流値のパーセンテージに対する動作時限の変化を表わしています。

動作時限は円板の回転角度を変えて調整するようになつており、時限目盛板と時限レバーが設けてあります。目盛板上には0~10の時限等分目盛が施してありますが、レバー10位置において1,000%以上の過電流による動作時限は2秒となつており、反限時性定限時特性を与えています。動作時限はレバーを動かすことによつて任意に整定することができますが、いずれの位置においても、またどの電流タップにおいても正確な時限が得られます。



第2図 内部接続図 (裏面)

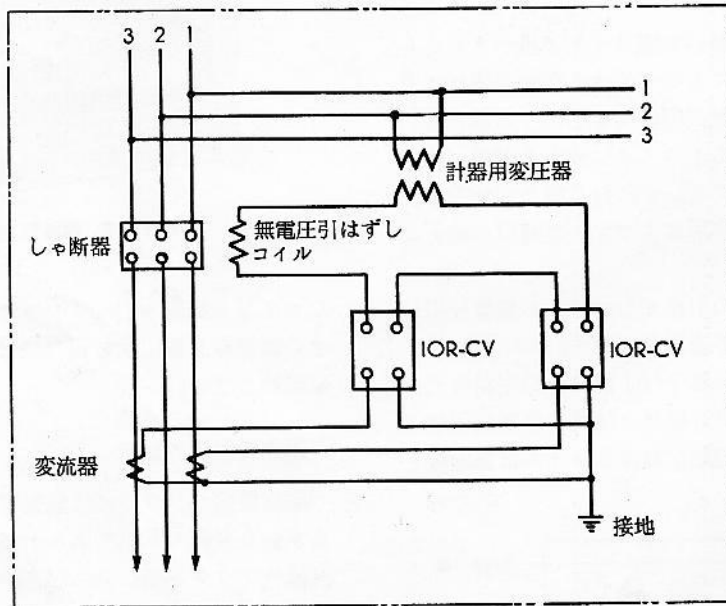


第3図 時限特性

接点と表示器

主接点は純良な銀で作られ固定、可動両接触子は過大な電流による衝撃にも確実に接点を閉路し、振動したり接触不良を起こすようなことはありません。また補助接触子と動作表示器を備え直接しゃ断器を引はずすことができます。

外部接続



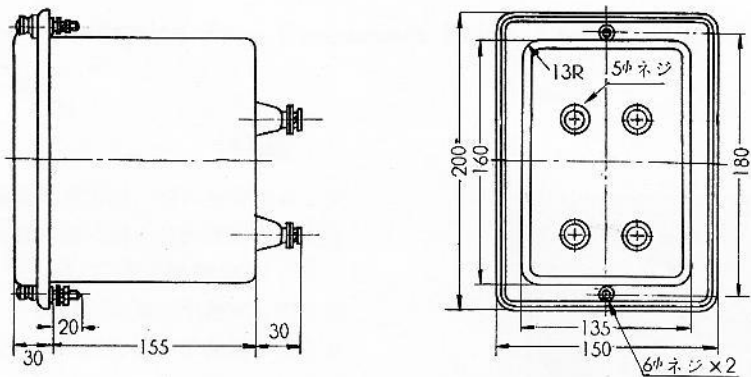
第4図 外部接続図(裏面)

IOR-CV形 誘導形過電流継電器標準定格表

形式	定格	電流整定範囲	消費電力	補助接触子 表示器	周波数	備考
IOR-CV	5A cont	4-5-6-8-10-12A	タップ電流にて 13 VA	有	50 または 60	埋込形

- (注) 1. 重量は約 3.9 kg です。  
 2. 表面丸形、引出形も標準として製作しております。

### 外形寸法



第5図 IO-R-CV形 継電器外形寸法図 (埋込形)

—ご注文に際しては次の事項をご指定下さい—

1. 形 状 : 埋込形、引出形、表面丸形の別
2. 用 途 : 使用回路
3. 周 波 数 : 50、60 の別
4. 定 格 : シャ断器定格、最低引はずし動作電圧
5. そ の 他 : 標準外の仕様がある場合